松前町大型カルバート個別施設計画

2024年（令和6年）12月

恵み、めぐるまち、まさき。

四国
愛媛
まつさきまち

目　　次

1　大型カルバート個別施設計画の目的

（1）背景

（2）目的

（3）管理大型カルバート

2　メンテナンスサイクルの基本的な考え方

（1）基本方針

（2）定期点検・診断

3　計画期間

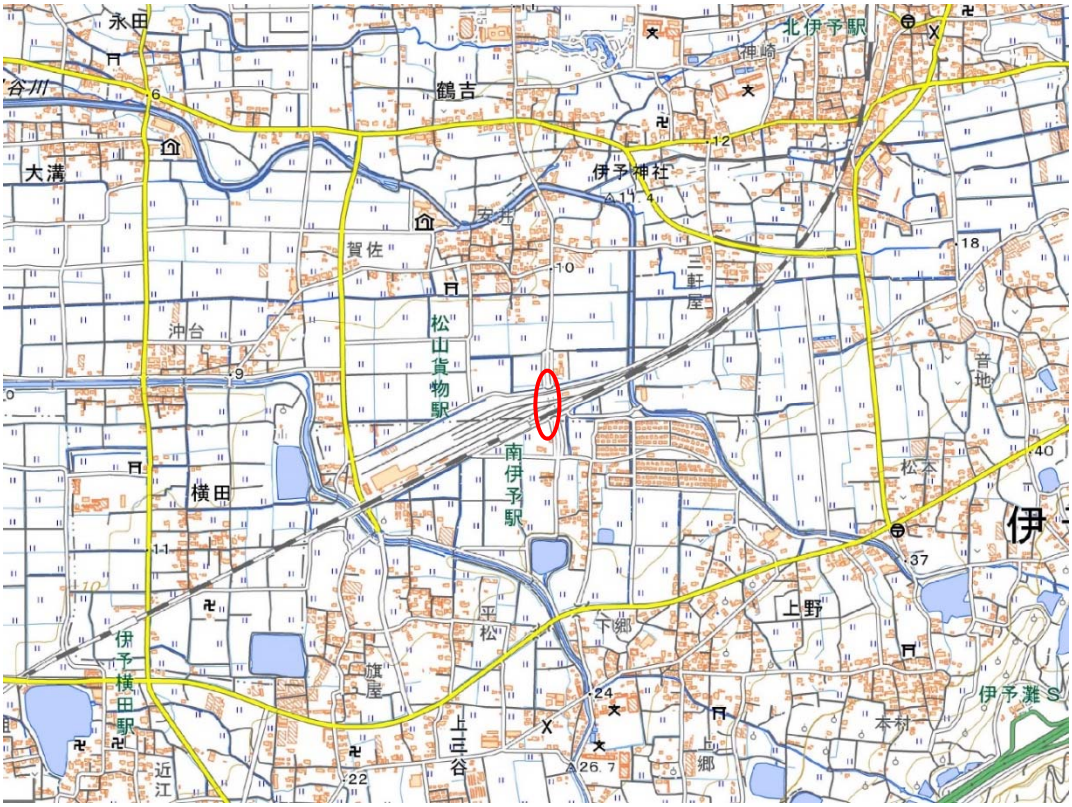
（1）計画期間の考え方

（2）個別施設計画

4　新技術等の活用

5　費用の縮減に関する方針

（参考）位置図



１　大型カルバート個別施設計画の目的

（１）背景

近年、高度経済成長期に建設されたインフラ施設の老朽化による損傷事故リスクが増大しており、社会資本のメンテナンスのあり方が社会問題となっています。

松前町では、令和５年３月現在、１箇所の大型カルバートを管理しています。建設 50 年を経過した構造物はありませんが、生活の利便性と安全性の確保、また地域活性化のためにも、限られた財源のなかで効率的、計画的な大型カルバート維持管理を行う必要があります。

（２）目的

この計画では、松前町が管理する大型カルバートについて持続可能な維持管理体制を確立し、事後保全的な修繕から、早期措置的な修繕に転換することで、安全で安心な道路サービスの提供を行いながら、大型カルバート寿命を延命することで、必要予算の平準化と維持管理コストの縮減を図ります。

① 持続可能な維持管理体制の確立

…点検方法、点検頻度などを明確に定め、大型カルバートの健全度を把握し、早期対策を講じます。

② 事後保全対応から早期措置修繕への転換

…損傷が顕在した時点での修繕から、予防的に早期措置としての修繕に転換します。

③ 必要予算の平準化と維持管理コストの縮減

…中長期的な修繕計画により予算の平準化と、計画的かつ予防的修繕によりライフサイクルコスト（ＬＣＣ）の縮減を図ります。

（３）管理大型カルバート

松前町が管理する大型カルバートは次のとおりです。

施設名	路線名	建設年	経過年	延長	幅員	所在地
堤架道橋	町道東 44 号線	2016 年	８年	82.1m	10.2m	松前町大字鶴吉

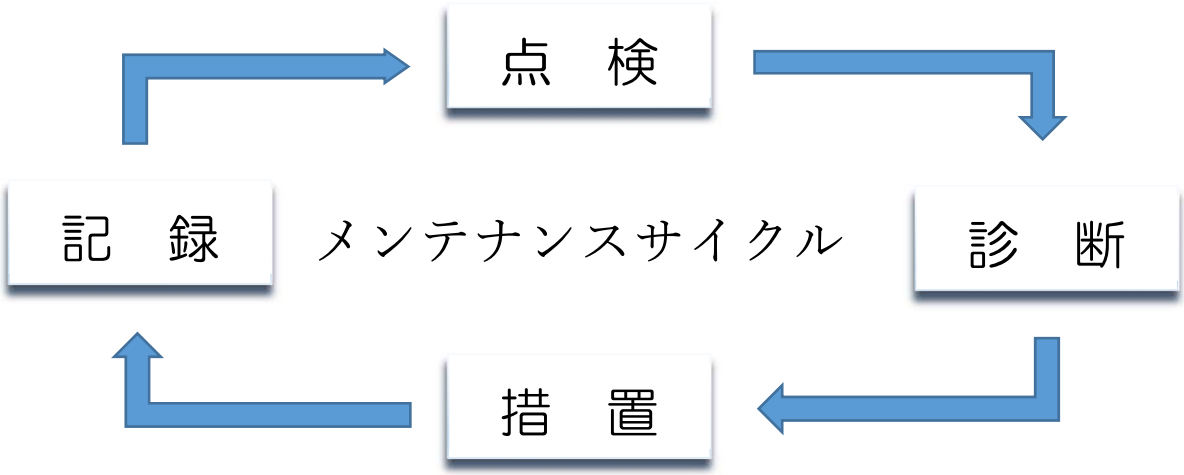
＊この大型カルバートはＪＲ予讃線と交差しています。

２　メンテナンスサイクルの基本的な考え方

（１）基本方針

大型カルバートの老朽化対策を確実に進めるため、点検から始まり、診断、措置、記録というメンテナンスサイクルを構築します。

メンテナンスサイクルの推進により、適切な維持管理を実現します。



（２）定期点検・診断

松前町が管理する大型カルバートの定期点検は「シェッド、大型カルバート等定期点検マニュアル（愛媛県）令和２年２月」に基づき実施し、５年に１回の頻度で、近接目視による点検を実施し、健全性を把握します。

① 健全性の診断

定期点検結果は次の４段階の区分で判定し、区分に応じ着実かつ効率的・効果的に措置を講じます。

区　分		状　態
Ⅰ	健全	構造物の機能に支障が生じていない状態。
Ⅱ	予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが，予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
Ⅲ	早期処置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり，早期に措置を講ずべき状態。
Ⅳ	緊急処置段階	構造物の機能に支障が生じている，又は生じる可能性が著しく高く，緊急に措置を講ずべき状態。

＊「判定区分Ⅳ」は、変状発見後、緊急に措置します。

＊「判定区分Ⅲ」は、変状発見後、５年以内に措置を講じます。

３　計画期間

（１）計画期間の考え方

５年に１回の定期点検サイクルを踏まえ、点検間隔が明らかとなるよう計画期間は 10 年とします。なお、点検結果等を踏まえ、適宜、計画を変更します。

（２）個別施設計画

施設の諸元								大型カルバート個別施設計画										
								計画予定時期（●定期点検＋計画更新）										
施設名	路線名	延長	建設年	供用年数	構造形式	点検年次	点検結果	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年	2032年	2033年	2034年
								R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
堤架道橋	東44号線	82.1m	2016年	８年	ﾎﾞｯｸｽｶﾙﾊﾞｰﾄ	R7	Ⅱ		●					●				

４　集約化・撤去及びコスト縮減の検討

松前町が管理する大型カルバート施設は１基であり、周辺状況や利用実態を踏まえて撤去を検討しましたが、迂回距離や施設の点検結果により、撤去は行わないこととしました。しかし、社会経済情勢の変化や今後の損傷状況、道路の利用状況の変化を注視し、必要に応じて検討します。また、損傷が発見された場合は、軽微なうちに補修するなど予防保全的な維持管理を行い、維持管理費用の平準化とコストの縮減を図ります。

５　新技術の活用及びコスト縮減の検討

松前町が管理する大型カルバート施設は１基であり、適切な時期に点検や修繕工事を行い、施設の延命化を図ります。施設の点検や修繕工事を行うにあたり、令和７年度までに、費用の縮減効果が見込まれる新技術等を活用し、点検・維持管理費用を 10%程度縮減します。